

議会だより やまもと

Vol. 199
令和5年2月1日発行



希望に満ちた1年の幕開け
初日の出を見る会（花釜区）

第4回臨時会

会期10月28日

第4回定例会

会期12月1日

～9日

- 一般質問……………P 4～16
議員12名が我が町政を問う
- 臨時会……………P17
- 委員会報告……………P18
- ワールドカフェ……………P19

令和4年 第4回定例会

“コロナ禍の中の強いまちづくりを”

定例会概要

第4回定例会は、12月1日から9日までの9日間の日程で開催されました。今回の会議では、町長提出議案30件（報告1件、条例22件、契約2件、補正予算5件）、委員発議の意見書1件を審議、議案54号を継続審査とし、その他の議案は原案通り可決しました。一般質問は、異例の議長を含めた12人の議員が今後のまちづくりや、町長の町政運営について、一般質問を行いました。



一般会計補正予算概要

一般会計予算においては、ウクライナ情勢等に起因する、原油価格、物価高騰等に直面する生活者の負担軽減を図るため、国の追加支援策等を活用しました。主なものとしては、18歳以下の子どもを扶養する町内の子育て世帯、全世帯に対する給付経費や、また、人事院勧告等に伴う人件費等の増額分を予算化しました。

主な補正予算事業

- ふるさと納税に係る事業（返礼品・委託料）…………… 995万円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別交付事業…………… 250万円
- 子育て世帯生活支援給付金事業…………… 4,200万円
- 農地利用効率化等支援事業補助金事業…………… 1,555万円
- 道路橋梁復興事業…………… 3,324万円
- 少年の森拡張改修実施設計業務委託事業…………… 240万円

令和4年度 各種会計補正予算一覧表

(単位：千円)

| 会計名 | 補正額(12月) | 合計額 |
|-----------------|----------|------------|
| 一般会計 | 207,892 | 11,504,359 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 494 | 1,854,092 |
| 後期高齢者医療特別会計 | — | 195,393 |
| 介護保険事業特別会計 | 359 | 1,597,642 |
| 亘理地区介護認定審査会特別会計 | — | 7,428 |
| 水道事業会計 | 441 | 583,381 |
| 下水道事業会計 | 5,472 | 1,114,540 |

～更なる物価高騰、原油価格高騰から町民を守る取り組みを～

補正予算の主な質疑

ふるさと納税

議員 返礼率は決まっているのか。
課長 全国統一で寄付額の3割となっている。
議員 歳出はどの程度か。
課長 寄付額2千万の3割なので、600万円になる。
議員 我が町にも多くの寄付をいただいております。これからも期待できるものであり、知恵をしばり活用の幅を検討すべきである。

子育て世帯生活支援特別給付金

議員 今回2種類の支援があるが、詳細を説明願いたい。
課長 1件目は、6月補正での国の事業で、低所得者の支援分に対し、想定より給付世帯が増えたものである。2件目は、今回、新たに支援を行なうものとなっている。

債務負担行為

議員 山元町地域公共交通計画について、経費の内訳を伺う。
課長 既調査業務と、前計画の検証業務に取り組み、来年度は、それらのまとめを生かした、計画策定の本業務が債務負担行為となる。
議員 何を業務委託するのか。債務負担行為は必要なのか。
課長 アンケートや、ヒアリング調査の業務結果を踏まえ、問題点、課題点の抽出などを行い、計画書づくりを行なうものである。
議員 過去に色々な調査を委託してきたが、改善が見られず不安が残る。

震災遺構中浜小学校



議員 ガイドの歳入について、何回を想定しているのか。
課長 一回あたり5千円で、61回分を見込み、月当たり25回とし提案している。
議員 歳出のガイドの謝礼は何回を想定しているのか。
課長 歳入同様の回数を想定している。
議員 町外からの会員もあり、燃料の高騰も考慮した謝礼を今後、検討すべきである。



一般質問 我が町政を問う

- ◇渡邊千恵美 議員 P5
 - 1 交通の利便性確保について
- ◇品堀 栄洋 議員 P6
 - 1 消防団の将来を見据えた施策の展開について
 - 2 町道等の安全対策について
- ◇高橋 建夫 議員 P7
 - 1 小学校再編について
- ◇菊地 康彦 議員 P8
 - 1 農業の振興策について
 - 2 町の課題解決について
- ◇伊藤 貞悦 議員 P9
 - 1 中学校の運営について
 - 2 小学校の再編について
 - 3 組織の見直しについて
- ◇高橋真理子 議員 P10
 - 1 町民協働の町づくりについて
 - 2 みのりプロジェクト推進事業について
- ◇竹内 和彦 議員 P11
 - 1 人口減少対策（移住・定住）について
 - 2 ごみの削減について
 - 3 坂元地区の排水対策について
- ◇大和 晴美 議員 P12
 - 1 帯状疱疹の予防ワクチン接種について
 - 2 ファミリーサポートセンター事業について
- ◇岩佐 秀一 議員 P13
 - 1 公共遊休地の利活用について
 - 2 大規模区画整備事業における非農地等の活用について
 - 3 農振地域の見直しについて
- ◇岩佐 孝子 議員 P14
 - 1 安全・安心なまちづくりについて
 - 2 活気あふれる地域づくりについて
- ◇遠藤 龍之 議員 P15
 - 1 山元町産業振興基本計画の取り組みについて
 - 2 国民健康保険事業の取り組みについて
 - 3 保育事業の取り組みについて
- ◇岩佐 哲也 議員 P16
 - 1 10月26日の我が町職員に対する公務中の暴行事件に関する町の対応について

○一般質問とは

町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をだし、所信の表明を求めるもの

こちらから録画映像を見ることができます→



ニーズに合わせた交通の利便性を

町長 利便性を調査し早期実施に努める

議員 タクシーや介護タクシー等を利用し、通院される方々に対する交通費補助に取り組む考えはないか。

町長 交通弱者に関しては、高齢化の進展が著しい本町が抱える大きな課題である。町全体の交通対策と併せて検討する。また、通院される方々への交通費補助に関しては、対象者が幅広くなるため、先進自治体の取り組みを参考に調査研究する。

議員 パークゴルフ場がない本町にとって、町外のパークゴルフ場に行く際に、町民バスの運行や交通費補助に取り組む考えはないか。

町長 その点も含め検討する。

議員 山下駅前駐車場を利用する方が、急なJR運休などに対しても対応ができるよう、駐車料金を最初の30分間は無料にする考えはないか。

議員 効率的な駐車場の運営を図るため、機器の設定変更によるコスト等を確認の上、早期実施に努める。

議員 前回は質問したが、産前産後のママサポートタクシーなどの支援を行う考えはないか再度伺う。

町長 営業時間帯で対応可能な事業者がある。妊婦に対しての基礎知識を学んで頂くため、来年度において助産師による研修会を開催し、タクシー事業者の参加を募ることから始める。

議員 小児ワクチンの接種や買い物の際も盛り込んだ政策になると良いと思っているが町長の考えは。

町長 その点も含め検討する。

議員 高校や大学及び専門学校の通学費用に関する補助事業に取り組む考えはないか。

町長 移住・定住施策等の推進につながるため、果が期待出来るため、引き続き調査研究を進める。

議員 政策に対する今後の考え方を、もう一度伺う。

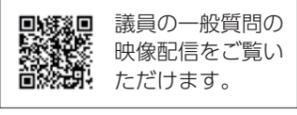
町長 交通費の補助は今後本場に検討しなければならぬ。

議員 仙台駅までの坂元駅と、山下駅の運賃格差への考えは。

町長 同じ町内の山下と坂元の格差をなくすあり方もしっかりと検討する。



わたなべ ちえみ 議員
渡邊 千恵美 議員



議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



皆様ご利用ください



よしひろ 品堀 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

消防団の未来を見据えた施策展開を

町長 連携を強化し、団員確保に努めたい

議員 消防団員の高齢化や団員不足の現状と課題をどう認識しているのか。また、今後の取り組みは。

町長 町内企業等へ協力を依頼するなど、新たな団員の確保に努めたい。

議員 実践的訓練を充実させ、技術の向上や育成に取り組む考えはないか。

町長 団活動の技術向上、士気高揚を図るため、連携強化に努めたい。

議員 会社員が入団した場合、以前は活動の協力を求め、町長名で依頼文書を提出していたと聞いている。現在

の取り組みは。
町長 確認し、対応していきたい。

議員 消防団協力事業所表示制度を活用している。が、2年ごとの更新で事業所側からの申請となっている。現在、更新している事業所は何社あるのか。

課長 現在は1社のみである。

議員 メリットが大きい制度であるため、町から事業所に更新を依頼するべきではないか。

議員 防災研修の一環として、新規採用職員への加入を検討し、各分

団に配置する考えは。
町長 各地区の消防団に入っている職員もいる。今後検討していく。

議員 町職員のスキルアップや、平日昼間の消火活動に活躍できることから、加入を検討するべきである。また、女性や大学生を、火災予防の普及啓発、*サイコロジカル・ファーストエイド、避難所支援活動などの機能別消防団として採用すべきでは。

町長 検討を重ね、進めるべき課題の一つである。



通学路の安全確保を

町道等の安全対策は十分か

町長 今後計画的に整備を進めていく

議員 町道頭無牛橋線に道路照明や防犯灯設置、慰霊碑「大地の塔」周辺にトイレを設置する考えはないか。

町長 次年度以降、計画的に整備を進めていく。

議員 通学路は、児童生徒の利用実情にあったものとなっているか。

教育長 事故等が起った際に問題となるので、学校に確認が必要である。

議員 教育委員会では危険個所の有無について確認しているのか。

教育長 学校で確認し、指導している。

議員 教育委員会及び町側では確認はしているのか。
教育長 学校と一緒に、

危険個所や、防犯灯等の設置などを確認している。
議員 建設課も一緒に現場確認すべきではないか。

町長 安全確保に努めていく。

議員 自転車通学の生徒に、夜間点灯点滅する反射板に対する補助の考えは。
町長 今後の検討とする。

*サイコロジカル・ファーストエイド.. 危機的状況に陥り、助けを必要としている人へ適切な人道的・支持的な支援を行う活動のこと。

小学校再編もまちづくりも心一つに

町長 町は一つとして今後も進める

議員 令和4年11月に開催された「小学校再編に関する町長との懇談会」では年配の方が多く、保護者の意見を期待していたが参加者が少なかった。どう認識し、対応は。

町長 教育委員会の平成30年住民説明会での「小学校1学区区」の方針が、一定程度浸透していると思う。保護者を対象に令和5年1月の早い時期に懇談会を計画する。

議員 平成30年当時

「10年後を目途」という再編の目標年次を重視した場合、再編の立地から開校までの工程と再編の目指すクラス替えによる交流と切磋琢磨等遅れが危惧される。令和4年度は大切な時期では。

町長 目標年次を考え、早期に結論を出し関連事務を再開しなければならぬ。学校や子どもに負担をかけず、だからと延ばさない。

議員 懇談会で教育の資質向上による移住・

定住の拡大の意見が出ている。再編までの間、各小学校の交流を行い、小中一貫校を目指した心身たくましい教育の考えは。

教育長 「みのりプロジェクト」推進事業で教育の足並みを揃える小中連携を図り、小中一貫に近い形で学校教育の充実に取り組んでいる。探求の対話や複式学級を視察しており、小中一貫校についての見聞を広め、生かしていく。

議員 再編までの教育長と町長の責務についてあらためて伺う。

教育長 従前の方針どおりに進むことが責務である。

町長 教育委員会と共通理解を図り、再編準備委員会を立ち上げ、

その結果を町民に説明するのが責務である。
議員 まちづくりも再編も町は心ひとつとなることでは。

町長 学校にかかわらず、町は一つだと思っており進めていく。

議員 閉校せざるを得ない小学校は、地域のよりどころとしての交流の場や町の活性化として、有効活用を真剣に検討すべきでは。

町長 廃校決定時点で「廃校施設等利活用基本方針」を策定し、企業誘致や町の施設などとして、考えている。

議員 再編の最終的な進め方や諮問は、*「総合教育会議」で結論を出すべきでは。

町長 「総合教育会議」は、意見交換できる場、この場で互いに共通理解をはかり決定したい。



児童がたくましく育つ小学校再編を

*総合教育会議.. 地方公共団体の首長と教育委員会が教育政策について協議・調整する会議体



たかはし たてお 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



議員 菊地 康彦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

これからも持続可能な農業振興策を 町長 他産業とバランスを見極め検討する

議員 継承農家への支援策は進んでいるのか。
町長 国では一定の条件を満たす場合、農業用機械等の取得費用の一部補助を実施している。町独自の支援は他産業とのバランスを考慮する必要がある。
議員 中山間農地の用排水路等の整備検討状況は。
町長 整備事業については、多面的機能交付金事業を推進、支援策の充実を図り、用排水路等の整備を進める。
議員 遊休農地の活用を検討状況は。
町長 今年度から農地中間管理機能のメニューを取り入れて簡



にっぽんの食のためやるしかない！

易的な農地整備を行ない、農地集積、集約化を進める。
議員 大型特殊免許取得の支援を検討する考えは。
町長 必要性は認識しているが、他産業従事者とのバランスも踏まえ慎重に検討したい。
議員 農業は人の食を守る大切な基幹産業である。国も「人・農地プラン」による農業の

振興を図るため「中規模農家」を頼りにしている。しかし、認定農家のような支援は受けられず、ほ場整備、大型機械の導入、大型特殊免許と負担が大きい。継承農家への農政を怠ると基幹産業のバランスが崩れ、離農等が起き、遊休農地等を生む。他力本願ではなく、基幹産業の重要性を認識すべきである。

今 課題解決をするときには

町長 課題を認識し対策を講じていく

議員 空き地・空き家に対する具体的な施策は。
町長 住民の生活環境等に大きな影響を及ぼすと認識し、適切な管理や、有効活用を努めている。
議員 JR坂元・山下駅ホームに待合所設置の要望を出す考えは。
町長 これまでに2度要望を行っている。「風雨対策に対するJR利用者から寄せられた切実な声」として改めて要望活動を行う。
議員 町有地（被災宅地・町道）の適正管理について、現状と課題をどの様に認識し、具体的施策を講じていく考えか。
町長 一定程度の管理が図られてきていると認識している。全ての町有地を満遍なく管理したいが、膨大な町有地を適切に管理することは現実的に困難だ。優先度や緊急性を見極め、対策を講じていく。
議員 町民は今困って訴えている。現状を認識した「積極的な施策」が見えないこの考え方は何の解決にもならない。計画づくりだけではなく、町民の声を聞き一つでも課題解決することが重要である。

小学校再編の方向を決断する時期は

町長 今年度末までには結論を出したい

議員 11月の小学校再編、懇談会で、町民の声を直接聞き、考え方に大きな差があると感じた。町長・教育長はどのように捉えているか。
町長 これまで教育委員会として話し合いをしてきたが、町として関わっていなかった。最終的には設置者である町と考え、直接地域の皆さんの声を聞き、総合的に判断しようと考えてた。皆さんの思いをきちんと受けとめた。

教育長 地域や世代による違いで、再編に賛成・反対の考えがあると感じた。
議員 再編について方向性の原案作成をするのは、総合教育会議で、その原案の審議は議会で判断する。これで間違いないか。
町長 教育委員会や総合教育会議での共通理解の下に今年度末までに判断し、方向性を決めた。その後、議会での審議となる。
議員 今後の進め方に

ついて、最終的な決断をするのは「町長」なのか「教育長」なのか。
町長 教育委員会としては、先に出した結論に何ら変更はないと断

定している。最終的には町として教育を受ける子どもたちを中心に、不安を与えないよう環境整備を一番に考え判断していきたい。



議員 伊藤 貞悦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



優勝おめでとう

山元中学校再編の成果は

町長 野球部が県新人大会で初優勝

議員 山元中学校は開校後1年7ヶ月経過したが、成果を含め検証は実施しているのか。
教育長 昨年度に実施したアンケートでは、生徒・教職員及び保護者の9割以上が学校生活は楽しく充実していると回答している。
また、教育委員会に関する点検・評価における学校自己評価では、各項目で目標を達成できていると回答しており、新たな環境で充実した学校生活を送られていると捉えている。
議員 予想以上のプラス項目や修正点・改善点は。
教育長 10月の県新人大会で野球部が「初優勝」を飾った。部員が増え切磋琢磨できる環境の中、互いに信頼し合い、一丸となって取り組んだ結果である。学校再編の成果の一つと考えている。しかし、学力向上や不登校等の課題は、目に見えるような改善には至っていないと認識している。今後も学校、家庭と連携し改善を図っていきたい。

その他の質問

組織の見直しについて、直面している諸課題の解決は、組織の見直しだけで十分対応できるのか。



たかはし まりこ 議員
高橋 真理子

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

町民協働で活気ある町づくりを

町長 協議を行いきる範囲で支援したい

議員 大震災から、間もなく12年。活気ある地域づくりに熱い思いを抱いている住民も多い。そばの栽培が広がり、県内有数の産地となった。空き家を改修しそば屋やカフェ、特産品販売等の事業運営等を希望する団体への支援策は。

町長 第6次山元町総合計画において、地域の資源を生かした産業の復興と活力あふれるまちづくりの実現を掲げている。そばの栽培は、多くは米の転作としての作付で、交付金等、今後の取り組みについて見通せない実態である。地場産品の販

路拡大や地域産業の活性化に繋がるものである。その施策実現に、県のみやぎ農山漁村交流拡大推進プランも併せ、まずは、地域における関係機関や組織との協働による体制整備をし、協議しながら、できる範囲で支援したい。

議員 深山山麓少年の森の令和6年度リニューアル完成予定に合わせ、指定管理者制度を導入してはどうか。
教育長 来年度、募集要項や選定基準等の素案を作成し、6年度には選定委員会において基準等を決定後、候補者の選定を行い、議会



賑わいをつくる

の議決を経て、令和7年度から運用したい。
議員 運営を地元地区に委託してはどうか。
課長 関係条例に基づ

いて、公募せず、地元自治体に指定管理者として委託することは可能となっている。

「地域と共にある学校」を目指して

教育長 各種事業を行っている

議員 学校教育充実事業「みのりプロジェクト」推進事業の一つ、コミュニティスクールが、今年度から全小学校で実施している。山下小学校では前年度から先行実施していたが、具体的な成果は。
教育長 学校・家庭・地域が一体となった取り組みであるコミュニティスクールは、重点目標に「あいさつ日本一の学校」や「ミシ

ン活動」、「見守り隊の活動」等を行っている。
議員 子ども達は、地域との繋がりの中で、地域の次世代を担うという意識や大切な郷土愛、そして絆を育み、豊かさやたくましさを身につけられる。コミュニティスクールの「地域と共にある学校」として、もっと地域の大人たちとかわっていくよう希望する。

移住転入には著しく格差がある

町長 町全体にバランスのとれた発展を

議員 この6年間に、我が町に転入した人は284世帯789人で、そのうち坂元地区へは24世帯75人である。全体の1割にも満たない。ほとんどは山下地区に転入している。この著しい格差が生じている実態を是正すべきでは。

町長 町有地を、今後どのように有効活用していくのか思案している。

議員 補助金と宅地分譲と保育所、この3つを総合的に取り組むことは、坂元地区の人口減少と衰退を防ぐ極めて有効な対策だと思

議員 補助金と宅地分譲と保育所、この3つを総合的に取り組むことは、坂元地区の人口減少と衰退を防ぐ極めて有効な対策だと思

町長 山下地区に一極集中ではなく、町全体のバランスのとれた発展を考えている。

議員 坂元地区に転入が少ない理由に、宅地分譲が極端に少ない。

議員 坂元地区に転入が少ない理由に、宅地分譲が極端に少ない。

議員 坂元地区に転入が少ない理由に、宅地分譲が極端に少ない。

を受け入れて、地域振興や協力活動を通じ、その地域に定住・定着を目指す取り組みである。また、受け入れ自治体には、国から手厚い支援制度があるので、移住者を増やす絶好の機会とすべきでは。
町長 地域おこし協力隊の活用については、企画立案しているところである。

を受け入れて、地域振興や協力活動を通じ、その地域に定住・定着を目指す取り組みである。また、受け入れ自治体には、国から手厚い支援制度があるので、移住者を増やす絶好の機会とすべきでは。
町長 地域おこし協力隊の活用については、企画立案しているところである。

谷地川の排水問題は未解決では

町長 詳細に解析し調査検討する



冠水している町地区

議員 過去にも何度となく河川が氾濫し、度々洪水を繰り返している坂元地区の谷地川の排水問題は、未だに解決せず、対策が追い付いていない。今回、第三線堤としてのかさ上げ工事が始まった。これにより、豪雨時には氾濫水の行き場がなくなり、坂元地区の排水は、これまで以上に被害が拡大する恐れがある。手遅れにならない様に対策を講ずるべきではないか。

町長 災害で一番初めに考える必要があるのは人命である。谷地川の排水対策は、また詳細に解析等を行い、冠水が解消されるのかを改めて検討して行く。
議員 過去にも調査検討を繰り返している。町長は抜本的な対策を行うと言っているが、状況はむしろ悪くなっている。住民の安全安心という観点からも、対策を早急に講ずるべきである。

たけうち かずひこ 議員
竹内 和彦

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



やまとも はるみ 議員
大和 晴美

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

带状疱疹予防ワクチンの費用助成を

町長 今後の検討課題として取り上げたい

議員 带状疱疹ワクチンの効果をどのように考えるか。

町長 带状疱疹を発症しないための選択肢の一つであり、50歳以上の方の予防に効果がある。

議員 带状疱疹ワクチンの周知はなされているのか。

町長 副反応により接種できない人などもあるため、免疫力が低下しないよう体調管理に留意するなど带状疱疹の予防に対する正しい知識を周知していきたい。

議員 どのような方法で周知をするのか。
課長 带状疱疹を発症

しないように、体力維持等の正しい知識を広報やホームページでの周知に取り組みしていきたい。

議員 带状疱疹ワクチン接種費用の助成をどう考えるか。

町長 国の審議会において定期予防接種の議論が行われており、国の動向を注視していきたい。

議員 費用の助成をしない自治体も増えている。川崎町では、県内市町村に先がけて昨年65歳以上の方に生ワクチン、不活性化ワクチンとも費用の6割を助成している。本町でも、健康長寿と負担軽減のため、助成をしては。

町長 任意接種とはいえ、高額なので、今後の検討課題としたい。



子育ては地域の力も借りて

ファミサポの利用クーポン配布を

町長 負担軽減を図るため検討している

議員 ファミリーサポートセンターの利用数や活動内容をどのように捉えているか。

町長 延べ202件の依頼を受けている。主な依頼内容は、保育所開始前の預かりや送迎、土曜日の預かりなど、早朝や休日の依頼が多く、一時保育等に対応できない援助を地域の方に補っていただいている。

議員 こどもセンターが休みの日、ひだまりホールなどの施設を利用している。使用料は、お願ひ会員の負担になつていますが、会場提供ができない場合は、使用料の一部補助をする考えはないか。

町長 負担軽減を図る

ため、クーポン券配布について検討している。

議員 北海道砂川市では、お互いの信頼関係が大事だということで、平成29年4月からお試しクーポン配布事業を始めた。これは、1歳6か月健診時にお試しクーポン1時間のもの4枚を渡している。本町では、どのようなクーポンを考えるのか。

町長 お試しという形でクーポンを配り、制度の周知と利用の促進、負担軽減につなげていきたい。

町有遊休地の有効活用を

町長 地域の声を聴いて検討する

議員 移住・定住用地として、利用可能と想定される場所は。

町長 元坂元中学校、中央保育所、町民プール、坂元合同庁舎跡地など計6か所、敷地面積は、全体で約3万3000㎡である。

議員 坂元駅から近く、移住・定住用地として有望でありながら、十数年放置している。元坂元中学校跡地を検討する考えはないか。

町長 坂元地区の振興を考えると、元坂元中

学校跡地は一番有効的に使える土地と認識しているが、現状において、いずれの用地も移住・定住用地計画案等は策定していない。

しかし、元坂元中学校跡地については、人口減少が進む坂元地区の改善策の一つとして、活用が期待出来ると考えられるので、地域の声なども踏まえ方向付けを検討していく。

議員 元坂元中学校跡地は、移住・定住用地として、大変有効な土

地だと思うので、交通の利便性や環境等も含め、積極的に仙台圏へ移住・定住の宣伝を行い、人口減少に取り組み考えはないか。

町長 町全体を見て、どのように定住促進を進めたいのか、計画を策定し推進していきたい。



いわさ しゅういち 議員
岩佐 秀一

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



早期の有効活用を

農振地域の見直しを

町長 令和7年度までに実施予定

議員 大規模区画整備事業の換地後における、農振地域の見直しはいつから行うのか。

町長 換地処分公告を経て、登記手続きが完了した後の令和6年度から7年度までに実施する予定である。

議員 換地計画が1年から2年ほど遅れるとの回答であり、山元南インターチェンジ周辺を先行し、農振区域の見直しを行い、周辺の土地開発を優先する考えはないか。

町長 指摘の地域は、国道6号や県道角田山元線に直結し、交通便利性に恵まれた環境であることを踏まえ、現在見直す方向で作業を進めている。区域の見直しは完了次第、改めて土地の有効活用を検討していく。

議員 ゴルフ場、新地工業団地が近く、また、丸森や角田への交通の要であり、早期に農振地域の見直しをして、土地の有効活用を期待する。



岩佐 孝子 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

「避難文化」 確立をめざす訓練を 町長 訓練をし「体」で覚えることが大事

議員 庁舎は、エレベーターは狭く、勾配がきつい階段、外側への避難用はしごがない状況である。今回初めて実施した職員の避難訓練における評価・検証は。

町長 庁舎建設時に議会から、避難階段設置の必要性が言われていたと思う。設置を考えていきたい。

課長 訓練回数を重ね内容も工夫し、職員が共通理解と意識を持つよう創意工夫していく。議員 庁舎は地震で天井は壊れ、誘導などにも不安がある。町民、職員の命を守るため、より安全な誘導を最優



心をひきしめ災害に備えよう

先すべきである。また、近年は自然災害が多くなっている。今年の防災訓練は、職員の勤務時間を想定したその評価・検証は。町長 職員の登庁訓練、災害対策本部設置などの初動体制確認ができた。また、公助が機能するまでの間、自助・共助の協力体制の重要性も確認した。

議員 地元企業から協力いただき避難でき、分散されたのでは。町長 岩機ダイカスト工業(株)のご厚意により実施し、国道を横断する際の信号時間や道路での渋滞等の課題が見えた。

議員 1年に1回だけではなく津波、土砂崩れ、地震等の訓練も必要ではないか。

町長 訓練で見た課題を共有し、災害発生に備え、日頃からの心構えや命を守るための訓練を繰り返し、町民の生命、財産を守るよう最善を尽くしたい。避難することを体で覚えるのが一番である。

議員 震災で犠牲になった方々、避難誘導のため犠牲となった区長・民生委員・消防団や町職員の方々。二度と悲惨な災害、同じ悲劇を繰り返さないためにも、避難文化を確立していくべきである。

住民と職員で協働の まちづくりを

町長 町民の声を反映していく

議員 地域ブランドの開発、住民との協働への支援を行う地域おこし協力隊の導入は。

町長 前回の二の舞にならないよう体制整備をしたい。

議員 ボランティアで来町している方々に声をかけをしては。

町長 制度活用や他自治体の活用事例を参考に、隊員の活用と定着

を図りたい。議員 課題解決のため、現場へ足を運び信頼関係の構築が必要である。住民と職員のプロジェクトチーム設置は。

町長 早い段階で取り組みたい。議員 「主人公」の町民が一丸となり汗をかき持続可能な町を目指し、今後も次代へ種をまいていきたい。

国保税の引き下げで負担軽減を

町長 被保険者の負担軽減に取り組み

議員 コロナ禍から3年、ロシアのウクライナ侵略、異常な円安で、食品、電気、ガス、資材の高騰等、天井知らずの物価値上げに国民は悲鳴を上げており、とりわけ低所得世帯の暮らしは大変。国保世帯の多くは低所得世帯で占められており、その支援策の拡充や、国保証のマイナンバー化で予想される受診の際の手続き等、高齢者の方の負担とならない対応が求められている。

議員 国保事業の取り組みのひとつ、マイナンバーカード化をどう考えるか。

町長 被保険者の利便性向上はもちろん、職員の事務負担の軽減や経費削減等も図られる一方で、0才児へのカード発行や認知症の方への対応、さらには個人情報保護など一体化に向けた安全性の確保も大変重要なポイントと考えている。

議員 国保証は月1回の提示で済むが、マイ

ナンバーカードでの受診ではその都度手続きが必要と言われているが。

課長 そこまでの認識はなかった。確認する。議員 カードがなく国保証のみの受診では、全額支払いとなるのか。

課長 保険証がないのと同じで、全額払いとなる。議員 批判の多い制度のようだが、今後制度の仕組みを正確に突き

み、対応することを求める。次に、税率引き下げや、税率改正の取り組みなどについて伺う。

町長 将来的な基金残高を見据えながら被保険者の負担軽減に取り組む。

検討段階は過ぎている早期の建設を

町長 私も同じ認識もう少し時間を

議員 通園バス置き去り死事件など痛ましい事故を受け、政府は保育現場では、小さな見落としで重大事故につながりかねないケースが多発しているとして安全装置義務化と安全管理マニュアルを柱とした緊急対策を打ち出している。専門家は現場の人手不足や過重な負担の解消が必要と訴えている。町の現状での取り組みに対し、保育士の配置体制に問題はないか。

町長 職員の配置数は基準を満たしている。

議員 待機児童7名ということだが、矛盾しているのでは。

町長 保育士の人数に余裕を持つての運営をとの指摘と思う。できるだけ早い段階で対応したい。

議員 このまま1か所での建設は。

町長 引き続き検討す



その他の質問

山元町産業振興基本計画の取り組みについて30年度までの計画だが、進捗管理は。交流産業における核的機能整備の取り組みは。今後の対応は。



遠藤 龍之 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。



岩佐 哲也 議員

議員の一般質問の映像配信をご覧ください。

職員や議員の安全確保はできるのか

町長 回答は差し控えさせていただく

議員 10月26日に起きた町民による職員に対する公務中の暴力・暴行事件について毅然とした対応を取るとしているが、現状の対応では職員や議員の不安は払拭されず、今後、職員や議員等が安心して職務に専念できる環境ではない。町長は職員が安心して仕事に専念出来る体制を整備する責務がある。また、この事件に関する一連の議会への対応については、11月28日まで、何の報告もなかった。説明責任の欠如、議会軽視と判断せざるを得ない。これで決着したとは到底言えない。

このままにしておくことは出来ず、今回質問せざるを得ないと考え、質問する。今回の件は、町長は公務中の暴行事件と認識していると話しているが、この詳細について伺う。
町長 解決しているの
で、回答を差し控える。
議員 全て解決して
いないから質問して
いるのである。職員
196名のこと
を蚊帳の外にし、
加害者一人を守る。
町長は、事件の報告
を聞いて、どのよう
な対応を取ったのか。
町長 詳細については
回答を差し控える。
議員 隠ぺいと取られ
てもしょうがない。
今回暴力を働いた町
民に税金から手当て
を支払うのは問題で
あり、そのような者
に今後とも手当てを
支給するのか。職務
遂行のため職員と
接するのも問題で
ある。このままでは
職員が安全に守れる
のか。

なぜ、弁護士等へ依頼しなかったのか。
町長 犯罪ということ
なら考える。その他
は回答を控える。弁
護士には相談した。
議員 11月11日に解
決したとしているが、
なぜ解決するために、
11日より前に弁護
士に相談しなかった
のか。
町長 回答は差し控
える。
議員 11月28日まで、
議会への説明とその
後の見直しを検討し
報告することを求め
たが、一切何の報告
もなかった。山元町
基本条例にも明記さ
れているが、我々議
員は二元代表制の下
、地方公共団体の事
務執行の監視機能の
役割を十分に発揮
しなければならな
い。何を質問して
も、「回答を控える」
としか回答されない。
これは、隠ぺいであ
る。この問題は、解
決するまで今後とも
質問をし

ていく。



職員や議員の安全対策を

令和4年 第4回臨時会

臨時会概要

第4回臨時会は10月28日に開催され、報告1件、議案3件を審議し、すべて原案の通り可決しました。

一般会計補正予算概要

ウクライナ情勢等に起因する、原油価格や電気・ガス料金を含む、物価高騰等に直面する生活者等へ支援を速やかに実施するため、地方創生臨時交付金等を活用しました。

具体的には、生活に深刻な影響が危惧される、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、及び町独自の支援策として、児童を扶養する低所得者世帯等や、町内の各種農家に対する肥料代・飼料代の助成と、町内の幼稚園・児童福祉施設を対象にした光熱費等の助成に係る経費として、歳入歳出それぞれ9,509万円を増額し、総額112億9,646万円となりました。

主な事業

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 7,588万円
※低所得世帯1世帯当たり5万円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業 1,044万円
※低所得世帯児童1人当たり5万円
- ・肥料価格高騰支援事業 747万円
※肥料価格高騰分の1/2
- ・飼料価格高騰支援事業 61万円
※乳用牛1万3,000円/頭 乳用育成牛等5,000円/頭 採卵鶏100円/羽



主な質疑

児童福祉費

- 議員 低所得の子育て世帯に対する給付金は、対象者は低所得者のみなのか。
課長 非課税世帯と、児童扶養手当の受給世帯である。
議員 家計急変世帯は支給対象外なのか。
課長 家計急変世帯も含まれる、また、児童扶養手当の部分には母子家庭・父子家庭も支援対象となる。
議員 家計急変世帯の具体的な判断は。
課長 令和4年の1月から12月までの、任意の1か月間、世帯全員の収入が住民税非課税水準相当であるかが判断基準となる。
議員 住民税非課税世帯とは、世帯に1人でも課税される人がいたら、その世帯は対象外なのか。
課長 その通りである。また、住民税から課税されている扶養の世帯も対象外となる。

町の仕事をチエツク!!

総務民生常任委員会

産建教育常任委員会

◇空き家対策事業

調査内容

空き家等対策の現状について、説明を受け調査した。

意見

①実態調査等は、現体制では困難と見られる。独自調査をしている行政区もあるが、業務委託等を検討してはどうか。

②まちづくり全体にかかわる問題であり、民間の活用や地域の協力も検討すべきである。

◇高齢者支援

調査内容

現状や各種施設の利用状況、地域包括支援業務委託について、説明を受け調査した。

意見

制度の実施延期を求める意見書を提出する。今後も動向を注視する必要がある。

◇インボイス制度

調査内容

資料に基づき、制度について説明を受け調査した。

意見

介護難民の増加が予想され関係機関と連携し、安心して暮らせるよう努めるべきである。

◇太陽光発電施設の設置届等

調査内容

太陽光発電施設の設置届出等の条例制定について、説明を受け調査した。

意見(条例制定時の留意事項)

①環境美化、災害に強いまちづくりなどの観点を考慮した条例制定をすべきである。
②事業者への指導、管理を徹底すべきである。
③行政区長、地域住民の声を十分に反映したものとすべきである。



◇農業振興費に係る補助金及び負担金

調査内容

補助金及び負担金の種類及び概要、対象者等を含め、交付状況等について調査した。

意見

①補助金及び負担金は適正に活用されているが、補助金交付対象者の多くが、大規模農家や新規就農者への傾向が見られる。
②現制度は大規模農家に対する新たな振興作物や、畑作への補助金がメインであるが、当町のような過疎市町村においては、規模拡大を考える小規模農家や、継承農家への支援がなければ、より一層離農が進み、大規模農

家への負担もさらに大きくなると考えられる。

◇学校給食

調査内容

給食費の現状及び食材の地産地消の取り組みについて調査した。

意見

①教育総務課が中心となり、庁内連携を図りながら地産地消にさらに深く取り組むべきである。
②地元食材の活用を図るため、生産者と学校給食の現場を繋ぐ体制づくりが急務である。



◇坂元地区排水対策

調査内容

排水の現状及び今後の対策について、現地確認を含め調査した。

意見

①今後、導入予定の排水ポンプだけでは解消が見込めないため、排水構造を再確認したうえで、抜本的な対策を講ずるべきである。
②出水時期の状況確認も必要のため、引き続き調査が必要である。

「やまもと」の将来を語ろう

～第1回 山元町議会「ワールドカフェ」(意見交換会)～



11月8日(火)ふるさとおもだか館を会場に、議会では初めて「ワールドカフェ」(意見交換会)を実施しました。この会は、今後のまちづくりを進めるための基本的なビジョンを、町民目線で気軽に語り合うことで町の魅力や底力を再認識し、議会としての政策提言につなげていくことを目的に実施したものです。

当日は、議員と民生委員・民生児童委員が一堂に会し、2つのテーマについて活発な意見交換を行いました。

テーマⅠ

「民生委員活動を通して感じること」

テーマⅡ

「これからのまちづくりについて」

共通して出た大きな課題3つ

高齢者 対策

- 一人暮らし世帯への支援
- 低所得者向け施設の整備
- 交通弱者への公共交通の充実
- 認知症や健康不安への対応

子育て 支援

- 保育所や病院(婦人科・小児科)、公園等の施設整備
- ひきこもりや不登校への対策
- 給食費の無償化
- 通学路の安全確保

人口減少 問題

- 働く場所の確保
- 空き家対策(シェアハウスへの活用など)
- 旧坂中・茶室を活用した交流人口の拡大

◎議会では、課題解決のため皆様の意見を生かしていきます。

議員の会議等出欠状況

令和4年10月1日～12月31日

出席：○ 欠席：欠(病気等)・公(公務) 員外：—

| 月 | 日 | 曜日 | 開催会議名等 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | |
|----|------------------------|-------------------|---------------------------------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|-----|------|------|------|---|
| | | | | 伊藤貞悦 | 品堀栄洋 | 岩佐秀一 | 大和晴美 | 渡邊千恵美 | 高橋眞理子 | 竹内和彦 | 遠藤龍之 | 岩佐孝子 | 阿部均 | 菊地康彦 | 高橋建夫 | 岩佐哲也 | |
| 10 | 3 | 月 | 総務民生常任委員会 | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ○ | — | |
| | 4 | 火 | 新議員研修会 | — | ○ | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 5 | 水 | 広報・広聴常任委員会 | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | |
| | 7 | 金 | 産建教育常任委員会 | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | |
| | 17 | 月 | 広報・広聴常任委員会 | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | |
| | 18 | 火 | 総務民生常任委員会 | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ○ | — | |
| | 20 | 木 | 産建教育常任委員会 | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | |
| | 21 | 金 | 広報・広聴常任委員会 | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | ○ | — | ○ | 公 | — | |
| | 23 | 日 | 総合防災訓練 | ○ | — | — | ○ | — | — | — | — | — | — | — | ○ | ○ | |
| | 25 | 火 | 長野県小布施町議会視察対応 全員協議会 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | |
| 26 | 水 | 富山県魚津市議会視察対応 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | | |
| 27 | 木 | 高知県室戸市議会視察対応 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | | |
| 28 | 金 | 第4回議会臨時会 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 31 | 月 | 産建教育常任委員会 | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | — | |
| 11 | 1 | 火 | 総務民生常任委員会 | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ○ | — | |
| | 4 | 火 | 福祉懇談会 | — | — | — | — | — | — | ○ | — | — | — | — | — | ○ | |
| | 7 | 月 | 全員協議会 | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 8 | 火 | 第1回山元町議会“ワールドカフェ”(意見交換会) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 10 | 木 | 三重県津市議会視察対応 産建教育常任委員会 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | — | |
| | 15 | 火 | 県町村議会広報研究会 | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | ○ | — | ○ | 欠 | — | |
| | 17 | 木 | 総務民生常任委員会 | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ○ | — | |
| | 21 | 月 | 第20回 伊達開拓ふるさと従兄弟(い~とこ)まちづくりサミット | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | — |
| | 22 | 火 | 産建教育常任委員会 | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | ○ | — | ○ | 欠 | — | — | — |
| | 24 | 木 | 県知事との意見交換会 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28 | 月 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | |
| 29 | 火 | 議会運営委員会 | ○ | — | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | — | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 12 | 第4回議会定例会(12/1・5・6・7・9) | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 2 | 金 | 総務民生常任委員会 | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ○ | — | |
| | 5 | 月 | 広報・広聴常任委員会 | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | |
| | 8 | 木 | 総務民生常任委員会 産建教育常任委員会 | ○ | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | ○ | — | — | ○ | — | |
| | 14 | 水 | 議会運営委員会 | ○ | — | — | ○ | — | — | ○ | ○ | — | — | ○ | ○ | ○ | |
| | 15 | 木 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 16 | 金 | 巨理地方町議会議長会定例会 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ | ○ | ○ |
| | 20 | 火 | 全員協議会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | — |
| | 21 | 水 | 産建教育常任委員会 | — | 欠 | — | ○ | ○ | — | — | ○ | — | ○ | ○ | — | — | — |
| | 22 | 木 | 仙南・巨理地方町議長会議 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | ○ |

議長交際費

| 区分 | 10月 | | 11月 | | 12月 | |
|-----|-------|---------|-------|-----------|-------|---------------|
| | 金額(円) | 内容 | 金額(円) | 内容 | 金額(円) | 内容 |
| 会費 | — | | — | | 3,000 | 仙南・巨理議長会情報交換会 |
| 慶弔 | — | | 3,000 | 少年野球大会 祝儀 | — | |
| その他 | 7,923 | 視察対応茶菓代 | 1,000 | 視察対応茶菓代 | — | |
| 合計 | 7,923 | | 4,000 | | 3,000 | |

令和4年 第4回定例会 議案等の審議結果

| 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|--------|--|--------------|
| 報告第9号 | 専決処分の報告について(工事請負契約金額の変更) | 報告 |
| 議案第51号 | 山元町個人情報の保護に関する法律施行条例 | 可決 (全会一致) |
| 議案第52号 | 山元町情報公開・個人情報保護審査会条例 | |
| 議案第53号 | 山元町まち・ひと・しごと創生推進基金条例 | |
| 議案第54号 | 山元町環境と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例 ※総務民生常任委員会に付託、令和5年第1回定例会までの継続調査 | 継続 審議 |
| 議案第55号 | 山元町情報公開条例の一部を改正する条例 | 可決 (全会一致) |
| 議案第56号 | 山元町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第57号 | 山元町職員の再任用に関する条例を廃止する条例 | |
| 議案第58号 | 山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(定年延長分) | |
| 議案第59号 | 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第60号 | 職員の懲戒の手続、効果等に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第61号 | 山元町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第62号 | 山元町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第63号 | 山元町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第64号 | 山元町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第65号 | 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第66号 | 山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第67号 | 山元町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第68号 | 山元町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第69号 | 山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(人事院勧告分) | |
| 議案第70号 | 山元町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例(人事院勧告分) | |
| 議案第71号 | 山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例(人事院勧告分) | |
| 議案第72号 | 督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例 | |
| 議案第73号 | 令和4年度 建設第1号 排水ポンプ車両購入事業に係る物品購入契約の締結について | |
| 議案第74号 | 令和4年度 山元町民体育館災害復旧工事請負契約の変更について | |
| 議案第75号 | 令和4年度山元町一般会計補正予算(第6号) | |
| 議案第76号 | 令和4年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) | |
| 議案第77号 | 令和4年度山元町介護保険事業特別会計補正予算(第2号) | |
| 議案第78号 | 令和4年度山元町水道事業会計補正予算(第3号) | |
| 議案第79号 | 令和4年度山元町下水道事業会計補正予算(第3号) | |
| 委発第2号 | インボイス制度の実施延期を求める意見書 | |

令和4年 第4回臨時会 議案等の審議結果

| 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|--------|---|--------------|
| 報告第8号 | 専決処分の報告について(賠償額の決定及び和解) | 報告 |
| 議案第48号 | 令和3年度 交通安全補助第2号 大平牛橋線橋田橋上部土工工事請負契約の変更について | 可決 (全会一致) |
| 議案第49号 | 字の区域の変更について(山元東部地区) | |
| 議案第50号 | 令和4年度山元町一般会計補正予算(第5号) | |

〇請願・陳情の受理

| 陳情番号 | 件名 | 陳情者等の氏名 | 結果 |
|-------|--|-----------------------------|----|
| 陳情第9号 | 来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金引き上げを求める陳情書 | 全日本年金者組合宮城県本部 執行委員長 小山 功 | 配布 |



横山区に完成した交流の場「風見鶏館」

風見鶏館 館長 日下清光

高齢化が急激に進展する社会情勢等を踏まえ、有志10名が集まり、会員の融和と豊かな人生づくりを通して、被災地域からの転入者も含め、地域では、希薄になっているコミュニティの活性化を図るため、「YYG（山元町横山グループ）」を2019年1月に設立しました。

区民誰でも集える活動拠点として「風見鶏館」を建設し、2020年2月23日にオープンすることができました。

YYGでは、高齢者が生き甲斐を持って楽しく暮らせるよう、そば作りなどにも挑戦し、イベント開催時には当館を会場に手打ちそばやピザ・焼き芋等を提供しております。

また、子ども食堂・交流カフェ等のイベント会場、区民等の会合場所に利用したり、野外に休憩設備があり、高齢者の散歩にも重宝されています。一刻も早く新型コロナ感染が収束し、当館の本来の目的である、いつでも・誰でも自由に集える場所になるよう望んでおります。

今後とも、社会の状況を鑑みながら、活動の充実に努めてまいります。

◇◇◇ お知らせ ◇◇◇

【議会広報・広聴常任委員会】

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 高橋 建夫 | 岩佐 孝子 | 渡邊千恵美 | 菊地 康彦 | 岩佐 秀一 |

令和5年 第1回山元町議会定例会 (予定)

会期：2月27日(月)～3月16日(木)
開会：午前10時
本会議：2月27日・3月2日・3日・7日・16日
(一般質問：3月2日・3日)

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集デスク

昨年は、2年続きの福島県沖大地震の被害を受け、一方で新型コロナウイルス感染症拡大、日米金融政策の違い、ロシアのウクライナ侵攻による円安の物価高騰は企業や家計に甚大な影響を与え、町政の舵取りがより重視されます。その様な中、議会は、町民との話し合いの環境作りに努め「ワールドカフェ」形式で民生委員と意見交換会を行いました。

皆様の声を真摯に受け止め提言・監視の役割を果たして参ります。また、明るいニュースとして、山元中学校の野球部が県秋季大会で初優勝し、町全体に夢と希望を与えてくれました。

より読みやすい紙面づくりに努力して参ります。皆様のご支援・ご協力をお願いします。
(委員 高橋建夫)